

1 塗装対象

屋外木部(ウッドデッキ、外壁等)全般

2 仕上げ

カラー	塗装後の仕上がり
AK02 杉の赤身けし色	木目をつぶす仕上がり(塗りっぱなし塗装) / 2分ツヤ~半ツヤ

3 塗装工程

工程		塗料製品名	希釈剤 (希釈率%)	標準塗布量 (ml / m ²)	塗り回数	その他
事前準備	① サンプル	事前にサンプルを入手し、ご利用の木での試し塗りを推奨。(当社ホームページより入手可)				
	② 塗装する木材の含水率	塗装する木材の含水率は20%以下が適しています。				
	③ 汚れ取り	埃、水分、油分を除去し、ヤニは、研磨、溶剤処理にて取り除いてください。				
	④ サンドペーパー掛け	必要に応じて、サンドペーパー(#180~240が目安)にて研磨してください。				
塗装工程	⑤ 攪拌	使用前によく攪拌してください。(特にカラー系は顔料が沈殿しているため、よく攪拌してください。)				
	⑥ 1回目 本塗装	木守り専科 杉の赤身けし SUPER HARD (AK02 杉の赤身けし色) ☞ 告示対象外製品。F☆☆☆☆と同様使用面積制限はありません。	無希釈	50	1回目	薄塗
	⑦ (ふきとり(不要))+乾燥	耐候性を高めるため、塗りっぱなしで施工(屋内の場合はふきとりを推奨)。本塗装後、約24時間乾燥させてください。				
	⑧ 2回目 仕上げ塗装	木守り専科 杉の赤身けし SUPER HARD (AK02 杉の赤身けし色) ☞ 告示対象外製品。F☆☆☆☆と同様使用面積制限はありません。	無希釈	33~50	2回目	薄塗
	⑨ (ふきとり(不要))+乾燥	1回目の塗装が完全に乾いた後、1回目と同様に2回目を塗装。約24時間乾燥させてください。				

4 注意事項

- ① 本塗装は、刷毛(市販の油性塗料用で、豚毛、馬毛等やや硬めのコシの強いもの)、またはコテバケ、スポンジ、布(ウェス)等で、薄く均一に行ってください。
- ② 塗装用具の洗浄には「U-OIL クリーナー」をご利用ください。(いずれもパンフレットを参照)
- ③ 杉の赤身けし SUPER HARDを屋内で使用する場合は、塗りっぱなしの塗装ですとなかなか乾かない場合があるため、ふきとり塗装を推奨します。
- ④ 経年した木材は、木の導管がかなり広がっている影響で2回塗装でも赤みをカバーできない場合があります。その際は、3~4回以上と調整をしながら塗装を行ってください。
- ⑤ 夏場の高温時は乾燥が速まることがありますので、ふきとり仕上げの際は早めのふきとりをおすすめします。長い時間放置すると塗料が乾燥し、色ムラになることがあります。
- ⑥ 冬場の低温時、湿度が高い時は、乾燥が極端に遅くなる場合がございますので、その際は長めに乾燥時間を取ってください。
- ⑦ 使用した刷毛、コテバケ、スポンジ、布(ウェス)等は自然発火の恐れがありますので、水を含んだ状態、または焼却にて処分してください。
- ⑧ 杉の赤身けし SUPER HARDは、JASS18 M307 木材保護塗料(WPステイン)の規格適合品です。

